

## 令和3年度 学校経営計画

大田区立大森東小学校  
校長 横山 稔

### ★ 今年度のポイント1 スローガン「明るく 楽しく 元気よく」

やはり、子どもは、いつでも「明るく 楽しく 元気よく」あってほしいと願っています。教師も、学校全体も、「明るく 楽しく 元気よく」ありたいと思います。そういう雰囲気を感じられる学校であれば、子どもは素直に登校したいと思うでしょうし、毎日楽しいはずです。子どもたちが「明るく 楽しく 元気よく」過ごすことができる環境を、我々教師側が、学校側が、つくっていきけるように努力していきたいと考えています。

### ★ 今年度のポイント2 ほめて伸ばす！ 自己肯定感を上げる努力をする。

昨年度の学校評価で、本校の児童は「自己肯定感」が低いことが分かり、一年間かけて努力をしてきました。自己肯定感は少し上がりましたが、目標の80%には2ポイント足りませんでした。そこで、今年度も引き続き自己肯定感を上げることを目標にしました。今年度は、我々教師が、意識を高めてほめるように注意していこうと思います。ただ、ほめるのではなく、子どもを伸ばすという意識を強くもって、その言動を行うようにします。今年度末の学校評価では、80%を超えるくらいまで高めたいと考えています。

#### ◆開校40周年行事について

今年度、大森東小学校は開校40周年を迎えます。令和4年2月5日（土）に、40周年記念式典を行う予定です。そのため、今年度は、周年行事に向けた取り組みを行っていきます。大きな学校行事である「運動会」と「学芸会」の頭には、「40周年記念」を付けます。そのほか、日常の授業や活動でも、周年行事を意識した教育活動や取り組みを行います。

#### ◆感染症対策について

コロナウイルスや変異株などの感染が拡大しています。今年度も継続して、感染防止策をとりながら教育活動を行います。まだしばらくの間、令和2年度と同様の対応を継続していかないとはいけません。学校としては、教育委員会や保健所の指導を受けコロナ対策のガイドラインなどを参考にしながら、感染防止に努めます。ご家庭でも、検温確認してからの登校、マスク着用、手指の消毒殺菌など、ご協力をよろしくお願い致します。

## 1 本校の教育目標

- 考える子ども＝「知」 自ら学び、考えて行動や判断ができる
- 温かい子ども＝「徳」 自分や相手を尊重する、温かくて豊かな心をもつ
- 強い子ども＝「体」 心身共に、たくましく生きる強さをもつ

「チルドレン ファースト」 児童第一優先主義で考えます。

そして、「子どもの健全育成のため」、「子どもの笑顔のため」に言動します。

## 2 目指す学校像

子どもが、学校に行きたいと感じる学校  
保護者が、学校に行かせたいと感じる学校

学校の教育目標や目指す学校像を、「学校」・「家庭」・「地域」の三者が  
お互いに同じ目標に向かい、響き合う教育＝「響育」ができるように。

## 3 教育目標・目指す学校像を達成するために

### ○考える子ども（知）・・・自ら学び、考えて行動や判断ができる

「授業」を大切にします。

・児童にとって・・・

- ①楽しいと感じる授業（前向きな姿勢で受けている授業）
- ②ためになると感じる授業（なるほどと理解が深まる授業）
- ③わかりやすいと感じる授業（わかったと感じる授業）
- ④次回が待ち遠しいと感じる授業（楽しみになる授業）
- ⑤受けて良かったと感じる授業（受けてプラスになる授業）

・先生方は、こういう授業を実践するように努めます。

### ○温かい子ども（徳）・・・自分や相手を尊重する、温かく豊かな心をもつ

（1）豊かな人間性を育む心の教育・・・全教育活動で思いやりと規範意識を育てる。

- ・基本的な生活習慣を身に付ける指導を継続して粘り強く行う。  
（挨拶・返事・言葉遣い・マナー・所作作法・常識等をしっかり伝える）  
（特に「ありがとう！」、「ごめんなさい！」が素直に言える子ども）
- ・自分を大切にするとともに、相手を認め尊重する心を育てる。  
（道徳教育の充実・人権教育の推進・道徳地区公開講座の活用等）

（2）生活指導は学校の教育活動の根幹

- ・全教職員で全児童を「目と言葉」で愛情ある声かけをする。
- ・子どもの小さな変化を見逃さないようにする。
- ・子どもの悩みを受け止めるため「校長先生なんでもOKポスト」設置

- ・「学校のきまり」をもとに統一した指導
- ・「報告・連絡・相談」で全教職員が情報の共有化を図る。

**暴力、暴言、不要物（スマホ、マンガ、お菓子、ゲームなど）持込み禁止。  
生活指導の流れを確認して徹底する。**

**保護者に連絡、児童・保護者に来校してもらう。**

**学校での生活指導。**

**不要物については、その後に返却。**

(3) 小規模校ならではの特色ある活動を生かす

- ・認める、励ます、思いやる心を育てる。(自己肯定感を高める指導)
- ・異学年交流、縦割り班活動を充実させ、集団での自分の役割を自覚させる。
- ・大東米栽培の活動から、食育・協力・協働・感謝などを学習させる。
- ・地域の伝統産業である海苔について「海苔付け」を体験する。

## ○強い子ども（体）・・・心身共に、たくましく生きる強さをもつ

(1) 体力調査結果をもとに体育の授業を充実（普通の遊びに生かせることが目標）

- ・走る、飛ぶ、投げることに対する基本的な動き。
- ・柔軟性や筋力、リズム感を養う準備運動を実施。

(2) 体育的行事への事前の取り組みを推進

- ・運動会を始め、体力調査や小学生駅伝大会に対する事前の計画的な取り組みを進める。
- ・子どもが自分への目標設定と挑戦・励ましの場を設ける。(休み時間の確保)
- ・駅伝大会に向けた取り組み(高学年児童に駅伝大会に向けた練習プログラム)

(3) 食育の推進

- ・健康な体を作るため、安全な食生活への関心を高める食育の学習指導を実施
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の取り組みを、PTA、家庭の協力のもと推進
- ・給食指導を通し、食事のマナーや食材生産者、給食調理員への感謝の心育成

## **4 保護者や地域関係諸機関等との連携で開かれた学校に**

**大森東小学校は、いつでも毎日「学校公開日」です。**

(1) 保護者との連携で信頼関係を築く

- ・保護者の子育ての悩みに共感と理解をもって対応する。

(2) 地域との連携により地域の教育力を活用する。

- ・「地域あつての学校」という意識をもつ。
- ・PTA活動、商店街や地域行事への積極的な参加
- ・学校支援地域本部と連携して、サマースクールの充実を図る。

## 《令和3年度 校長としての取り組み》

### ① 紙芝居（実施）

- ・月1回、朝の活動の時間を利用して、1年生～6年生まで全学年で実施します。
- ・ワークシートに感想を記入させ、自分の考えをまとめる力と書く力をつけます。

### ② 全校朝会の工夫（実施）

#### ○児童スピーチの発表

- ・全校朝会で、スピーチを希望する児童がいれば、その都度、行います。
- ・スピーチ原稿の作文チェック、読み方指導を校長室で行います。
- ・該当児童の保護者に見学できることを伝え、見に来てもらっても構いません。

#### ○ゲストティーチャー

- ・月に1回、全校朝会にゲストティーチャーを招き、話をしてもらいます。
- ・いろいろな人の話を聞き、興味関心を深め、知識や教養を得るようにします。
- ・転入されてこられた新しい先生方は、順番に話をしてもらいます。

### ③ 東っ子タイムズ（発行）

- ・毎週金曜日発行の校長室通信。A3両面刷り、年間35号発行予定です。

### ④ 社会科検定試験（実施）

- ・夏休み中のサマースクールで、講座を開講して事前の学習指導を行います。
- ・2学期から毎月1回実施。9月から3月まで、計7回実施予定です。
- ・結果、指導講評などは、東っ子タイムズに掲載します。
- ・60点で4級合格とし、3級名人、2級達人、1級博士、特級神童の称号授与。

### ⑤ かけ算九九検定（実施）

- ・6月は2～5の段、10月は6～9の段を行います。
- ・3、4年生 吉田先生が、算数教室で担当します。
- ・5、6年生 横山が、校長室で担当します。
- ・九九を言った秒数で、各級を認定します。

### ⑥ 写真ニュース（作成掲示）

- ・学校の行事を中心に、写真ニュースを作成し、広報活動を行います。
- ・外の公道にある掲示板、1階教員室前の掲示板、2か所に掲示します。

### ⑦ 6年生への対応として（実施）

- ①月1時間、道徳・総合・社会科・平和教育・人権教育などの授業をします。
- ②夏休み中に、6年生全員と個人面接を行い、個人理解を深めます。
- ③卒業前に、お別れ給食として、校長室で一緒に給食を食べる会を企画します。

### ⑧ あいさつ運動（実施）

- ・8:00～8:25まで、正門前で朝のあいさつ運動をします。

### ⑨ 毎週のクイズ（掲示）

### ⑩ SDGsの取り組み（推進）

### ⑪ 「校長先生 何でもOKポスト」（設置）

- ・手紙が入っていたときには、翌日までに必ず返事を書いて渡します。

### ⑫ 夏季休業中の取り組み（実施）

- ・6年生全員個人面接、社会科検定試験対策講座、サマースクール、ラジオ体操

### ⑬ 道徳地区公開講座講師 道徳授業実践「人間について」

### ⑭ 子どもと遊ぶ（子どもの世界に入る）